

平成30年
5月号

太陽の都 だより



発行所●医療法人社団 博栄会 介護老人保健施設「太陽の都」〒115-0051 東京都北区浮間 2-1-13 TEL03-3558-8881 FAX 03-3558-8831

責任者 大竹

行事報告

【お花見】

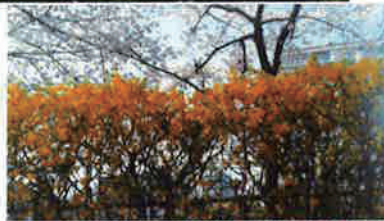
今年も、待ちに待った「桜」のお花見へ行ってきました。今年は暖かい日が続き、例年より早めの開花で、あっという間に満開となりました。近所の公園や団地内へお散歩に行き、見事な桜を見上げて、とても感激されておりました。「立派な木だな」「綺麗だね」「昔の桜はもっとピンクが強かった」「桜祭りて屋台がいっぱい出たのよね」など思い出話にもたくさん花が咲きました。「とっっても嬉しかった」「ありがとうございました」と満面の笑みをたくさん見ることができ、我々スタッフもとても幸せなひとときでした。



日常の様子

春は朝晩の寒暖差が大きく、且つ花粉も飛び、体調管理の難しい季節ですが、皆様如何お過ごしでしょうか。花粉でお悩みの方も多いですが、幸いにご利用者様にはいらっしやらず、数名の職員が困っている状況です。お天気の良い日の日中は、春らしい日射しがぼ

かばかと暖く、「ご家族とお散歩に出かけられたり、職員が屋上へお連れしたりといった光景もよく見られています。また男性の野球好きのご利用者様などは開幕したプロ野球に夢中のご様子でした。窓から外を見ますと、桜が終わった今は緑の新芽も鮮やかで、眺めてても気持ちく、陽春の到来を感じます。



特集

四月から新生活を迎えられた方々も少し落ち着く五月。今月号では「五月」にまつわるお話しをお届け致します。「五月」がつく言葉に「うるさい」がありますが、夏目漱石が小説で、「うるさい」と読ませたことから一般的に広まったと言われています。では、「五月蠅い」の「い」を取って「五月蠅」と書くのと何と読むかご存知ですか？それは「さばえ」と読みます。日本書記に「五月蠅有り集まりて、こりかさなること十丈。大空を飛んで信濃坂を越え、鳴音雷の如く、東上野に至って散る」この中で登場する「五月蠅」はミツバチの事です。（集まっ

当時は、まだ、ミツバチという言葉がなかった
ので、ブンブンと群れて飛ぶミツバチを蠅の群
れと表現したようです。日本書記の時代から、
うるさく、わずらわしい意として使われていま
す。

行事予定

【菖蒲湯】

五月七日(月)から五月十三日(日)まで「菖
蒲湯」を行います。菖蒲湯の伝統と千三百年も
前に中国から伝わり、その効能も血行促進・肩
こり・神経痛・冷え性・筋肉痛・リウマチ・肩
こり etc...と多岐に渡り、いわゆる「湯治湯」
として広まったそうです。こういった効能が、
ご利用者の皆様の心身の健康に繋がれば幸い
です。

【フリーマーケット】

五月二十七日(日)、毎年恒例のフリーマーケ
ットを開催予定です。ご利用者やご家族様、近
隣の方々より提供して下さった品々を当施設
一階のデイフロア・リハビリコーナーを開放し
て展示し、デイ食堂を喫茶コーナーとして軽食
(シユース・ケーキ類等)をご用意し、ご利用
者様・ご家族様に楽しんで下さる様企画してお
りますので、是非御来所下さいませ。また、正
面玄関前では店頭販売として、焼きそば・たこ
焼き・シユース類を販売する他、東京赤羽ライ
オンズクラブ様もローストビーフ丼を販売の
予定です。(お子様は無料)尚、フリーマーケ
ットの売上金は全額北区社会福祉協議会に寄
付させて頂きますので、ご理解・ご協力を宜し
くお願いいたします。

博栄会グループニュース

第十四回志茂二丁目健康講座を開催致しまし
た。

平成三十年三月二十七日(火)、志茂二会館にて
「第十四回 志茂二丁目健康講座」を開催致し
ました。最近、テレビや新聞・雑誌で頻繁に取り
上げられている「誤嚥性肺炎」をテーマに、
赤羽中央総合病院／呼吸器内科の熊澤文雄医
師による講演とリハビリテーション科による
誤嚥予防運動の実演を実施致しました。当日は
多数の方にお越しいただき大盛況となりました。
町会の皆様、誠にありがとうございました。
次回も旬なテーマで引き続き健康講座を開催
致します。

赤羽中央総合病院

電話〇三(三九〇二)〇三四八 代表



<近況報告>

様・御家族様

『こちらのスペースに当施設職員よりご家族様へ近況報告を添えさせて頂いております。』

担当：